



ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾 2000 編集：ジャンボ環境塾
 住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
 なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
 URL:<http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
 E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
 メールングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

けまして おめでとう ございます

新しい年を迎え、すこやかに新春をお迎えのことと思います。

去年は「なごや環境塾の会」が設立され、多くの「もっと2」メンバーが運営に関わりました。特に、なごや環境塾2007の講座が開講された7月28日以降、月2回ペースの講座やそのための企画会議等で多くの時間を費やしました。新しい目標のため、まだまだ発展途上で組織作りのまただ中の「なごや環境塾の会」です。この間、ゆっくり歩んでいた「もっと2」ですが、あっという間に「この指とまれ企画」で新プログラムとして「エコかるた」ができました。このパワーには驚きです。きっと「カンちゃん」同様、子どもたちの声から改良されていくかと思ひます。

2008年は、「もっと2」にとってどんな年になるでしょうか。気持ちを新たにして、さらに躍進の年にしたいと思ひます。

また、本年がみなさまにとって素晴らしい年となりますように、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



あいしてる
ちきゅうは
みんなの
たからもの
(「エコかるた」より)

活動実績 2007年9月～

- 2007/12/16(日)・・・12月 定例会
- 2007/11/22(木)・・・「エコかるた」 中川区正色小
- 2007/10/20(土)・・・環境カルタづくり
- 2007/9/29(土)・・・9月 定例会



「エコかるた」 名古屋市立正色小学校 11月22日(木)

昨年に続いて2回目となった正色小学校への訪問でした。ただし、今回は「カンちゃん」ではなく、新プログラム「エコかるた みんなでへらそうCO2」の初めての実施でした。

1・2・3年生の低学年にそれぞれ1時間ずつ実施し、「みんなでへらそうCO2」を一緒に踊りました。

体育館でグループの代表6人が真ん中に入り、全員が取れるまで読み札を読みました。その後、前に出て、取った札をみんなに見せてもらいました。

* 正色小学校HP 行事のページにも記録があります。

<http://www.syoshiki-e.nagoya-c.ed.jp/19nendo/ekofurendo19-11-21.htm>



「生物多様性」ってなに？

私たちが日常生活で消費したり使用している物の多くは、私たちと共存している多様な動物・植物などの生き物の恵みを受けて成り立っています。

たとえば、田・畑からは米・野菜・くだものなどを、海・川からは魚・貝・エビなどを、森林からは建材・紙などに至るまで、私たちは、多様な生き物や、それらが暮らせる環境に支えられているのです。

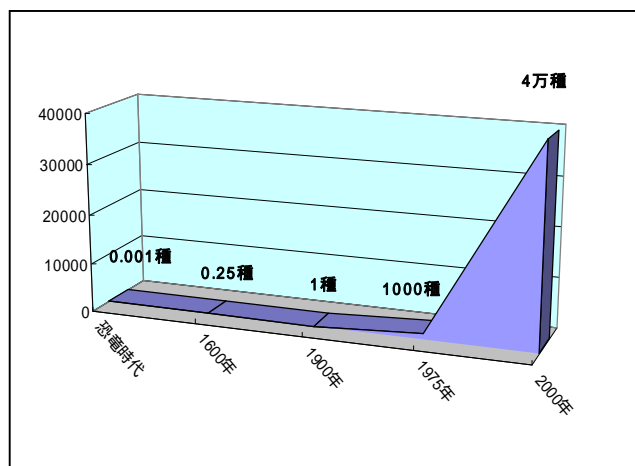
まさに生物多様性は、私たちの日常生活そのものなのです。

生物種が絶滅しているって本当？

現在、地球上の生物種が、1年に4万種、15分に1種の速さで絶滅していると言われています。こうした状況が続けば、生物多様性と密接な関わりのある私たちの衣・食・住は、大きな影響を受けることになってきます。今こそ、行動を！

都市が地表に占める割合は、2%にすぎませんが、地球資源の最大75%を消費しているといわれています。さらに、2030年までには、都市人口が50億人に達すると予想されており、地球上の生物多様性の存亡は都市にかかっているといっても過言ではありません。

今こそ、私たちは、生物多様性を守っていくために行動をおこす時なのです。



生物多様性を守っていくためにどうしたらいいの？

私たちは、現在、ごみの減量、省資源・省エネ、環境配慮商品の購入など、資源を浪費しないライフスタイルをめざしています。

今後は、生物多様性を守っていくために、これらのエコライフの実践に加え、一人ひとりが身近な自然・生き物に関心を持つことが必要になってきます。自然とふれあいながら、自然のしくみ、生き物が食物連鎖によって複雑に結びついていること、いのちの大切さなどに気づくことを通して、日常生活を見直していくことが重要です。

「COP10」と生物多様性との関係は？

最近よく言われている「COP10」は、2010年に開催予定の生物多様性条約の締約国が集まって開催する第10回目の会議のことです。名古屋市では、このCOP10の誘致をめざしており、2008年5月にドイツのボンで開催されるCOP9において、COP10の開催地が決定されます。

この会議は、地球上の生き物の多様性を守っていくための方法などについて、約190の国々から約4,000人が集まり、約3週間にわたって開催される、環境分野では世界トップクラスの国際会議です。



名古屋市としてどうするの？

今年(2007年)の10月、私は、韓国の済州島で開催された国際会議に参加してきました。会議の席上、カナダのモントリオール市長が、地球温暖化は生物多様性に大きな影響を与えるため、今こそ自治体は行動を起こすべきであり、生物多様性の保全をすべての政策に組み込むことが必要であると発言されました。

名古屋市では、COP10の誘致を一つの契機として、多様な生き物に配慮したライフスタイル・まちづくりに向けて取り組んでまいります。今こそ、ごみ減量・CO2の削減に取り組んでいただいている市民の皆さんと共に考え、行動し、その取り組みの環を名古屋から世界に広げていきたいと考えております。



なごや環境塾2007第6回講座でのY応援団員とA代表

生物多様性について

Y. I

私は、資料も本も見ないで原稿を書いてみようと思います。だから間違いやら記憶ミスが多いと思いますが、キーワードは提供できると思います。

生物多様性が話題にのったのは、たしかブラジルのリオサミット?の時だと記憶していますが?当時議題に載ったのは*気候変動について*生物多様性についての二つだったと思います。気候変動とは「温暖化」のことでつい先に行なわれたバリ島でのCOP13が記憶に新しい所です。COPとはC(何の略称か忘れたが会議等の意味)OF パーティーの事です。COP13といえば「気候変動枠組条約の13回目」ということです。名古屋市が誘致しようとしているのは、もう一つの条約についての会議「生物多様性条約の10回目」(COP10)のことです。

生物多様性とは、私の考えですが故今西錦司が提案した「ニッチ…全ての空間はそれぞれ対応する生物で占められている。その空間をニッチという」空間は、すべて何らかの生物で占められています。その生物が死ぬなりして居なくなると他の個体がすぐ後を占めることとなるのです。各生物の位置は進化の過程でゆっくりと定まってきたものですが人間の文明が発展するに比例して攪乱をされることとなります。外来生物の侵入が典型的な例となります。人間の自然界の攪乱により生物のニッチは激しく変動します。日本リスが台湾リスに締め出されそうになっている事やニホンザルに台湾サルの遺伝子が侵入している事、日本タンポポはほとんど壊滅して外見は日本タンポポだが遺伝子汚染をほとんどされている事実が最近明らかになっています。ある生物のニッチを人間が奪うと、そんな荒地にも適応できる新しい生物が、その場を奪います。砂漠化とは、それを通り過ぎて侵入種でさえ居つくことのできない環境(もっとも砂漠に住む生物は結構居るんですが、急に砂漠化した所には無理と思います)になったという事でしょうか?自然が保全されないと、絶え間ない攪乱により、その環境に強い種だけの単調な世界となります。これが「生物に多様性が無い世界」だと思います。人間は生物から、多様な恩恵を受けてきました。植物からは食料、薬、衣、住居等あらゆる面に頼ってきました。動物や菌類からも同様な恩恵を受けています。その多様性のある環境は人間が進化して適応してきた環境である事は大事な示唆を与えてくれます。人間の生理は環境の激変に対応できません。気候変動も人間活動が影響しているとはほぼ断定されました。温暖化は著しい影響を生物の多様性に与えます。環境の変化はあまりに早すぎて生物が適応できないのです。地球規模の氷期と間氷期の繰り返しに、大絶滅が何度も起こったと言われていますが、それでも生物が生き残ったのは寒冷化または温暖化のスピードが地球のリズム(大噴火とか大隕石の衝突などの突然の環境激変は、恐竜の絶滅をきたしたと言われているが、そういうのは別にして)である点では生物は子孫を移動させ対応ができてきました。時間があれば植物でも種を移動させて生き残る術を持っています。現在の温暖化のスピードは速すぎて対応できません。生物の多様性は温暖化のスピードダウンが必要なのです。その点で両者は切っても切れない関係にあるといえます。



ちょっとひといき

1月12日より公開 ネイチャー・ドキュメント映画「アース」



「温暖化」という言葉が身近になり、地球環境問題の一つ「生物多様性」という言葉もよく聞かれます。生物多様性は一般に、生態系の多様性・種の多様性・遺伝的多様性という3つの多様性を捉え、それぞれ保全が必要とされ、生物の空間的・時間的な広がりや変化を包含する概念です。そして生物多様性の危機は、人の行為が原因となっています。開発、手入れ放棄、外来種問題などが危機を招いています。人と自然との関わり方が問われているのです。

さて、自然の素晴らしさと驚異を伝える映画が公開されます。映画「アース」には氷の大地から熱帯の森、そして深海に至るまで、野生動物と失われつつある地球の風景の想像を絶した奇跡的瞬間が撮影されています。温暖化などの変化で見られなくなるかもしれない、この地球の風景や動物たちがスクリーンに映し出されます。5年の歳月を費やしたハイビジョン撮影は驚異的映像で、まさに自然の中にいる感覚が体感できるかもしれません。そして、地球から命の尊さを感じ、学ぶことができるでしょう。

映画が多くの人たちに影響を与えることは、最近では「不都合な真実」がありました。こうした映画でみんなが身近な自然への関わりを一歩でも踏み出してくれれば…。

新プログラム エコかるた『みんなでへらそうCO2』

K.A

昨年度、「カンちゃん」でおじゃました中川区の正色小学校から、「今年度もぜひお願いします。」とオファーがありました。しかし、カンちゃんとは違うメニューでということでした。そこで、環境サポーターとして、昨年度、一度実施したエコかるたをきちんと組み立て、もっと2の新プログラムとして作ることにしました。

かるたのテーマは、名古屋市が配布している、「エコライフチャレンジシート・みんなでへらそうCO2」です。かるたは、エコライフのヒントになるような内容にし、子どもたちが遊んだ後には、頭のどこかに言葉や絵が残り、毎日の生活の中に、CO2をへらす取り組みが自然に入り込んでほしいという思いで作りました。

まず、読み札の言葉を、みんなで考え、絞込み、こんどは、その読み札にあう絵を描いていきます。Sさんがとても頑張って46枚描いてくれました。

それを、Aさん宅で、6人のメンバー(+1名インターンシップとして、なごや環境塾2007受講生)が集まり、絵札の土台としてダンボールをA4サイズに切る人、絵に色を塗る人、塗った絵をラミネートする人、その絵をダンボールに張る人、と作業を分担し、1日かかってなんとか8割でき、日を改めて、残りの作業をし、完成させました。



11月22日、いよいよ、正色小学校での実施の日。

1年生プラス障害児学級、2年生、3年生とわけ、1時限ずつを3回行いました。

かるたを取るときは、子どもたちは熱くなるので、怪我をしないような、並べ方をしなくてはなりません。悩んでいましたが、現場の先生方と相談して、ドーナツ型にならべ、その中に、グループの代表の子が入ります。体育館でとるため、先生が体操のマットを敷き詰めておいてくださいました。とてもいいアイデアでした。

みんな目をきらきらさせて、かるたに集中してくれました。取った札をみんなに見せて、絵札の説明、行動に移すためのヒントなど、掘り下げて紹介します。取った絵札はきっと覚えてくれるはずですが、かるたを取った後は、「みんなでへらそうCO2」のエコソングに合わせて、踊りを踊りました。さすが、子どもたちです。みんなすぐに覚えてくれました。

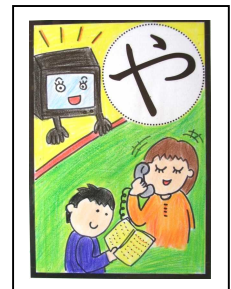
帰りには、子どもたちにエコライフチェックシートと一緒に、かるたの読み札を一覧にした表をおうちのひととの会話や、行動のきっかけになるように持って帰ってもらいました。かるたをして終わりではなく、家庭を巻き込み、親子で一緒にCO2をへらす取り組みにつなげてもらえたらいいなあと、願いをこめて。

その願いが通じるかもと思った瞬間がありました。

ひとりの男の子が、「ぼくが取った札覚えてよ！やめよう！テレビのつけっぱなし！」と大きな声で口にしながら、教室へ帰って行きました。

テレビのスイッチを消している、男の子の後姿が見えてきそうで、うれしい瞬間でした。本当に子どもたちは素直です。私たちも楽しいエコかるた取りでした。

今後は、名古屋市の環境サポーターのプログラムとしても登録し、幼児保育園でも実施することになっていくと思います。



お知らせ掲示板

* 詳細は、Aまでお願いします。

・1月定例会 1月20日(日) 千種区城山町A宅 13:30~15:30

・なごや環境塾2007第12回講座 「もっと2」活動紹介 1月26日(土) 13:00~15:30

伏見ライフプラザ12階 第1研修室

編集後記

2008年の最新号、ジャンボ通信 Vol.15 いかがでしたか。

ありがたいことに、多忙である応援団のYさんが原稿を送って下さいました。これも「もっと2」の出会いがあったから・・・(?)。激務が続くと思いますが、お体に気を付けて下さい。

そして、新プログラム「エコかるた」でまた新たな出会いが始まろうとする2008年です。なお、これからのジャンボ通信で「エコかるた」46枚をそれぞれ紹介をしていく予定です。

(BY ドクター)

